

地球惑星科学委員会地球惑星科学人材育成分科会

(第24期・第6回) 議事録

日時：令和元年12月25日（水）10：00～12：00

会場：東京大学本郷キャンパス理学部1号館3階337B室

（〒113-0033 東京都文京区本郷7-3-1）

出席：木村，田近，伊藤，大久保泰邦，大谷，大路，小口，大久保修平，  
川口，川幡，蒲生，北里，佐々木，関，佃，西，西山，氷見山，堀，  
山形，碓井，高橋，永原

欠席：中村尚，春山，藤井，小嶋，張，平田，福田，中村卓司，久家

議事次第

1. 前回議事録（案）の確認

前回の議事録案を承認した。

2. 提言「初等中等教育および生涯教育における地球教育の重要性：変動する地球に生きるための素養として」（案）について

1) 提言に対する修正を議論した。

「リテラシー」を「素養」に置き換える。

2) 「地理学教育」を「地理教育」へ変換する。

3) それ以外は、微修正して提出することになった。

4) 提言のチェックシートも承認された。

3. 大学教育、体制の現状についてのアンケート実施について

JpGUでアンケートを行って、分析を行っているとの報告があった。その後、大学の現状、就職の状況など、現在の問題に関して議論した。その結果、以下の結論を得た。

1) この分野の専門職員は1800人程度なのに対し、この分野で博士を取得する人は毎年110人程度となっている。時限でなく、若手を対象とした正規職員のポジションの増加が必要である。

2) 正規職員の研究者の待遇も、海外のレベルに近づける努力が必要である。実際、海外の優秀な研究者の日本での勤務に支障が出ている。

3) これは、国際性の促進といった課題とリンクしており、人口減少の日本社会において、海外とのリンケージの促進をすべきである。

4) 最終的にFunding Agency として、日本学術振興会の方にも具体的なお願いするための議論・行動を起こすことを、具体的に検討することになった。

5) 大学・大学院の高等教育、早期キャリアを通じての人材育成に関して、5月実施の学科長専攻長会議等を通じて検討することになった。

#### 4. その他

2020年5月の日本地球惑星科学連合大会時のAGUとの合同ユニオンセッション「Linking Education and Research Communities in Geosciences」への参加を促すこととなった。